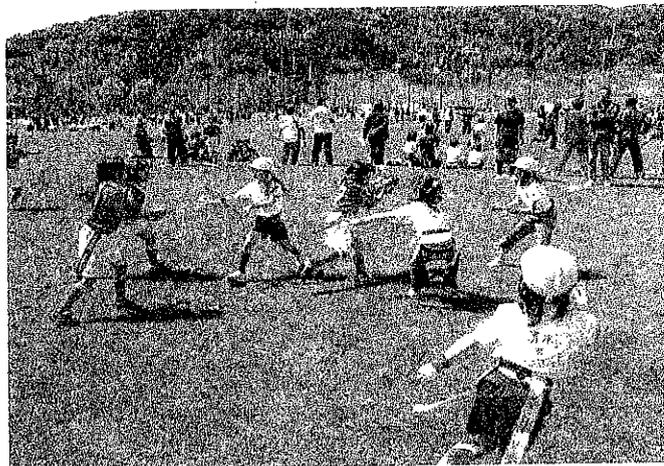


平成30年度

「ラグビースクールにおける U8以下のタグラグビー指導について」



目 次

- 1 ラグビースクールにおけるタグラグビーの導入について
- 2 U8以下タグラグビーの基本的ルール（例）
- 3 タグラグビーのコート（例）
- 4 楽しみながら集中させる効果的な運動ファイブ（例）
- 5 選手に対してのほめる言葉（例）
- 6 タグラグビーに関する練習メニュー（例）

九州ラグビーフットボール協会
普及育成委員会 副委員長 兼
タグラグビー部門長 三原一樹

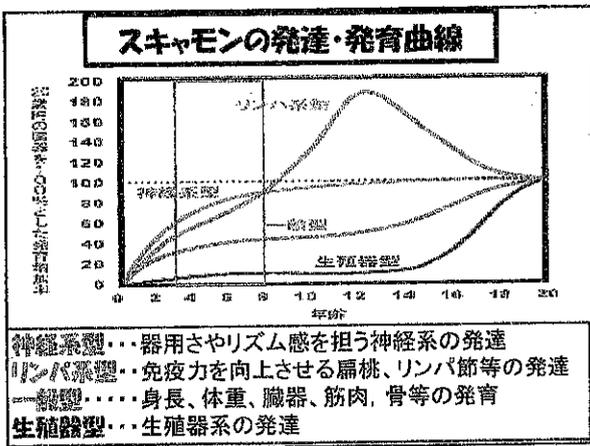
ラグビースクールプロモーション
指導者講習会 U8以下(3~8歳)

**ラグビー好きを
育てるために**

九州ラグビーフットボール協会
普及育成委員会
副委員長兼タグラグビー部門長
三原一樹(出水市立大川内小学校 校長)

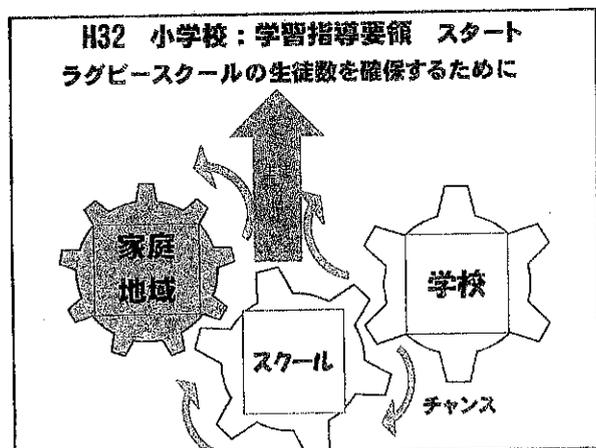
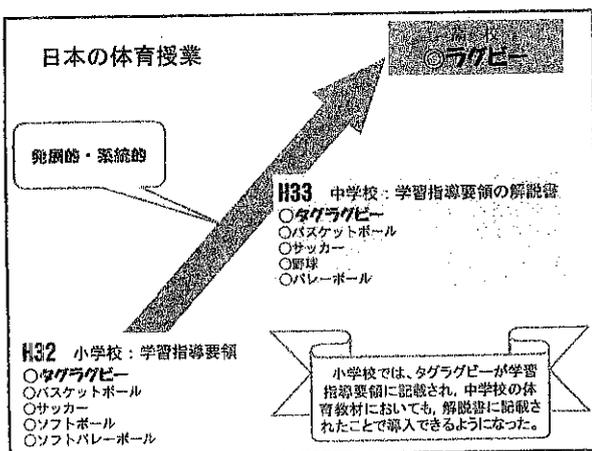
保護者の思い!

- ケガや病気にならないで健康に!
- 運動神経のよい子供に!
- 誰とでも仲良くできる子供に!
- できれば、代表選手に!



U8以下(3~8歳以下)
タグラグビーを導入するにあたり

- 1 練習内容(メニュー)は変える必要はない。
※ 基礎的・基本的なスキルは今まで以上に。
- 2 タグラグビーの練習内容を少し取り入れる。
※ 「できた」「できない」でなく、やったら「ほめる」。
- 3 試合は、タグラグビーのみ。
※ 認識するか、しないかの違いは大きい。
「◎目視と体感」



クイズ1

子供を取り巻く環境はどのように変わったのか？

文部科学省

- 外遊びやスポーツの重要性を軽視するなどにより、子供に積極的に体を動かすことをさせなくなった。
- 子供を取り巻く環境が変わった。
 - ・ 生活が便利になり日常的に体を動かすことが減少した。
 - ・ 体を動かすための時間、空間、仲間が減少した。
 - ・ 発達段階に応じた指導ができる指導者が少ない。
 - ・ 偏った食事や睡眠不足などで生活習慣が乱れてきた。

クイズ2

今の子供にどんな問題が発生しているか？

- その1 運動能力・体力の低下。
- その2 運動する子としない子の「二極化」。
- その3 遊ぶ場所の減少し、外で遊ばなくなった。
- その4 歩く、走る、跳ぶ、投げることがうまくできない。
- その5 ある程度まで学力は向上するが、それ以上が・・・。
- その6 スマホ等によるメンタルヘルス等の問題が発生。
- その7 ネット社会問題にまきこまれる問題が発生。

小学校における新体力テスト

以前に比べ ほぼ子供の体力は向上した。



しかし、
男子 握力、立ち幅跳び、ボール投げが不振

クイズ3

幼児の生活で最低限必要なことの3つは？

- ① 10時間の睡眠
- ② バランスの良い食事
- ③ 1日60分以上の運動

睡眠時間と肥満

肥満になる確立

3歳時の睡眠時間と

その後の中学1年生

- 11時間以上……………12.2%
- 9時間台……………15.1%
- 9時間未満……………20.0%

(国立保健医療科学院の報告)

幼児期の基本的動作の発達

文部科学省

- ・ 特定のスポーツ指導・運動指導のみを行っている幼稚園や保育所も少なくない。
 - ・ 幼児期は、「遊び」を中心に身体運動能力・認知的能力・情緒社会性の能力を相互補完的に育んでいく時期である。
- 幼児期に心地よく楽しく体を動かすことと経験していくことが重要である。

特定のスポーツにおける技術習得のための練習やトレーニングのみを実施するのではなく、豊かな運動遊びにおもしろくめり込んでいくことが大切な時期である。

神経・筋肉・骨等の発達は、人によって違う

- 幼児期の多様な動作経験不足により、代表選手になっても、ケガをすることが多く、競技を継続できないことがある。
- 海外では、年間を通して同じスポーツをさせるのではなく、季節に応じて多種目をさせる園が多くなっている。

クイズ4

指導者にとって

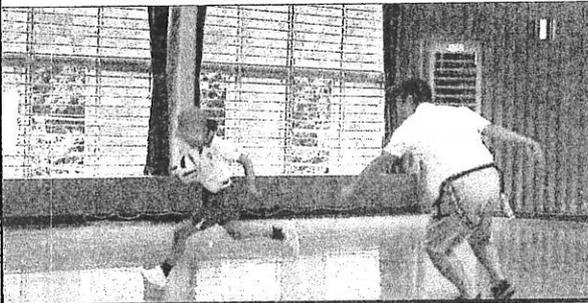
教えることの喜びとは何？

クイズ5

指導者の喜びと子供の喜びは、

同じだと思いますか？

今も昔も子供が使える。一日の時間は、変わらない。



今も昔も 子供は同じ
嬉しいことや楽しいことを
たくさんやりたい!

指導者の指導形態は

- ①……まずは、やって見せ
- ②……次に言って聞かせ
- ③……そして、やらせて
- ④……最後に、ほめる

U8以下(3~8歳)は、ほめる。

※きまりや規則は、しっかりと教える。

幼児や小学生は、楽しくできることから

神経系の経路は

できればあまり消えない。



神経系とは、一輪車や自転車に乗れると、
いつでもスムーズに乗ることができる。

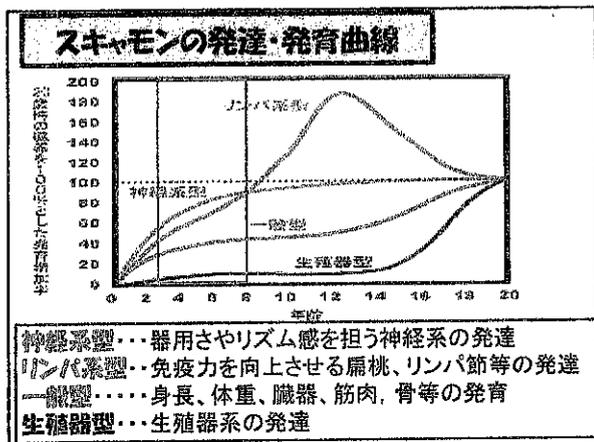
クイズ6

ラグビー指導で重要な年齢は？



★プレゴールデンエイジ U8以下(3~8歳)

★ゴールデンエイジ(小学3年生~小学6年生)



大人は、子供から同じに見られている。

問1
 放課後や休日、子供が集まりゲームを楽しんでいる姿を見て、どう思いますか。

問2
 待合所やバスや電車の中で、大人がスマホに夢中になっているのを、子供が見てどう考えると思いますか。

子供に体を動かすことを願うのであれば、大人もゲームやスマホを子供といる時はできるだけ我慢し、一緒に体を動かすことが必要である

ラグビーの強豪国の現状

ニュージーランド
 オーストラリア
 イングランド

★ルールの改正後（タックルの有無）

ルール	6歳 (幼児)	7歳 (小1)	8歳 (小2)
日本	フルタックル	フルタックル	フルタックル
イングランド	タックル	タックル	タックル
オーストラリア	タックル	タックル	フルタックル
ニュージーランド	タックル	タックル	タックル

★ルールの改正後（広さ）

グラウンド (広さと人数)	6歳 (幼児)	7歳 (小1)	8歳 (小2)
日本	40×28 (5人)	40×28 (5人)	40×28 (5人)
イングランド	規定なし (4人)	20×12 (4人)	22×45 (6人)
オーストラリア	25×17 (7人)	25×17 (7人)	ハーフ (7人)
ニュージーランド	20×12 (7人)	20×12 (7人)	22×45 (10人)

海外でのU8以下（3～8歳）の指導ポイント

● 体を動かすことの楽しさを教える。

大切なことは

- ひとつのスポーツにこだわらない。
- 「できた」や「できない」ではない。いろんな動きに挑戦させる！

タグラグビーのよさは

- 個人差や男女差に関係なく楽しめる。
- 能力が未発達な子供ができる。
- 潜在的な力を引き出せる。
- コーディネーション能力（センス）が身に付く。
- 試合で多くの子供が、トライができる。
- ケガをしにくい。

ミニラグビースクール

U8 以下（3～8歳）

指導上の留意点

**8歳以下の指導ポイント1
「指導者の位置」**

- 1 指導者の立つ位置
※ 背後の環境
- 2 子供への寄り添い方
※ 正面と真横、目線の位置

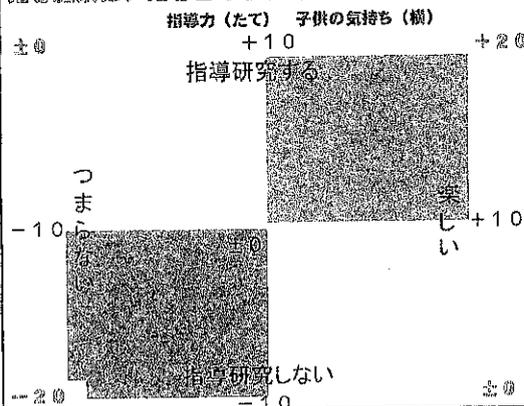
**8歳以下の指導のポイント2
「2つ以上のことを同時に」**

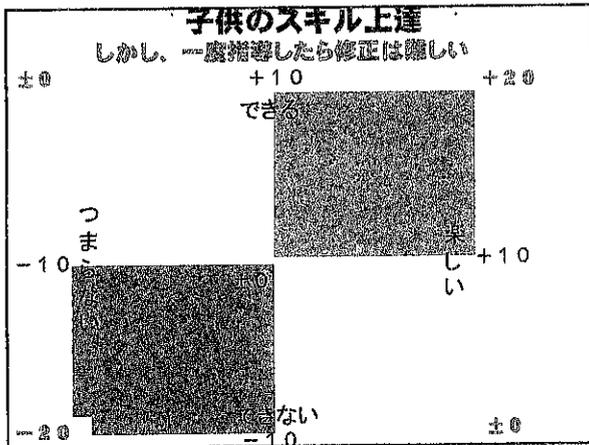
- 1 脳と酸素
※ 動きながら考えることをさせる。
- 2 脳と運動
※ 左右の動きを変えていく。
- 3 脳と目
※ 動いたら、動くことをさせる。(全身)

**8歳以下の指導のポイント2
「メンタルヘルス」**

- 1 あいさつと心
- 2 笑顔と運動
- 3 声かけとうなずき

指導結果は、指導者の辛みと子供の気持ちで決まる。





監督やコーチの役目は

- ① ラグビーが好きな子供を増やす。
- ② ラグビーが得意な子供を増やす
- ③ ラグビーが嫌いになる子供をつくらない
- ④ ラグビーが苦手となる子供をつくらない

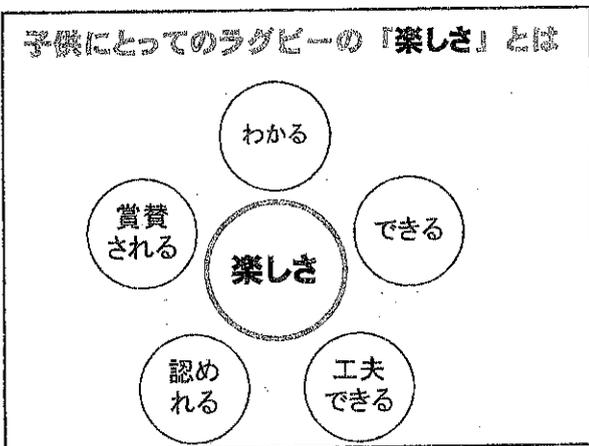
練習内容と時間

★楽しい
★達成感
★充実感
★有能感

またやりたい

★楽しくない
★術性感
★精力感
★自己満足感

もうやりたくない



U8以下 (3~8歳)
タグラグビーの内容

U8 (3~8歳) タグラグビーの試合
★福岡市内小学校は、100パーセント導入

	ルール
試合の人数 (1チーム)	4人
タックルなし	タグ
グラウンドの広さ (m)	20×10

多くの子供が一緒に、子供だけで安心安全に楽しく遊べるのがタグラグビーである。

タグラグビーの練習内容を導入する。

メリット

今まで以上に

- ① チームワークがととも良くなる。
- ② パスワークがととも良くなる。
- ③ ステップがとともうまくなる。
- ④ バランス能力がととも高くなる。

タグラグビーの練習内容を導入する。

デメリット

- ①タックルができない。
- ②あたりができない。
- ③キックができない。
- ④他たくさん……？

タグラグビーの練習内容を導入する。

デメリットの改善策

- ①タグラグビーの練習内容を少しだけ取り入れる。
- ②今まで通りの練習はしっかりやる。

★留意点

小学2年生（8歳）までは、ラグビーの基礎・基本をしっかりと身に付かせる。ただし、ミニラグビーの試合は、小学3年生（9歳）以上で実施する。

質問1

学校の練習内容を変更する必要があるか。

答え

- 今までの練習内容に、タグラグビーに関する内容を取り入れるだけでよい。

質問2

なぜ、ミニラグビーの試合をやったらいけないのか。

答え

- ◎ 小学2年生までは、練習で体を鍛えることは、今まで通りで良い。
- 試合となると、ぶつかったり、倒されたりすることで、ケガが発生するだけでなく、試合を喜ぶ子供以外に、心神的にラグビーを嫌いになる子供も発生するので、タグラグビーの方が良い。

質問3

練習のどこでタグラグビーをすれば良いのか

答え

- ◎ U8（3～8歳）までの練習時間は、集合してから終わるまで60分以内が良い。
- ◎ 10分間1コマを、60分間の練習のどこかに1コマで良い。

クイズ7

子供が、集中できる時間は何分程度？

★10分間程度

ある企業の目視作業でも約15分間で作業を交代している。

**U8以下（3～8歳以下）
タグラグビーを導入するにあたり**

- 体を動かすことの楽しさを教える。
- 筋や筋肉、骨を痛めるようなことは避ける。
- 決して体力的な無理をさせない。

**U8以下（3～8歳以下）
タグラグビーを導入するにあたり**

- 学校体育でタグラグビー経験した子供をラグビースクールにたくさん入部させる。
- 練習内容は今まで通りで、タグラグビーの試合はさせても、ミニラグビーの試合はさせない。

低学年の練習（案）

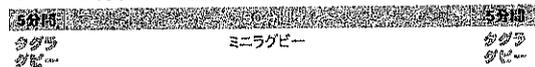
- ◎ 小学2年生までの練習時間は、60分間以内。
- ◎ 10分間1コマ、練習内容は6種類以内。
- ◎ タグラグビーの練習内容は、最低1種類、多くても2種類だけ。

練習に10分間タグラグビーを導入（例）

A 10分間×1回



B 5分間×2回



- ☆ 練習開始の45分前には、最低コップ1杯の水分補給をさせる。
- ☆ 練習中は、10～15分間に1回は休憩を入れ、水分補給をさせる。

3歳～小学2年生の指導中のほめ方

チームとしての喜びを教えることも大切です。しかし、一人一人を賞賛することが重要です。

**目を見て、表情を見ながら
うなづきながら ほめる**

**大会やフェスタにおける
チームへの賞状**

チームとしての1枚は当たり前

**小さくても、一人一人に渡せる
賞状が心に響く**

タグラグビー 練習メニュー

反射神経を鍛えるための練習



- ①手のひら上下攻防
- ②握手じゃんけん攻防
- ③じゃんけんキャッチプル

リズム感を養うための練習



- ① 前後左右のジャンプ
- ② 走りながら、しりとりしながらパスをする。
- ③ 円になり、リズムに合わせて、全員がボールを持ち、同じタイミングで隣にパスをする。

調整力をつけるための練習



- ①牛・馬ゲーム・タグ取りヘビ
- ②通りぬけゲーム
- ③タグラグビーの試合

U8以下 (3~8歳) タグラグビー 基本的な競技規則 (ルール)

競技規則 (ルール) 1

試合の人数 (1チーム)	4人 (※5人以上で行わない。)
グラウンドの広さ (m)	20×10 (※ケガ防止のため、広くしない。)
試合開始・再開	○攻守の両チームは5m間を開ける。 ○守り側全員が静止し、審判を待って「セット」と言った後、プレー開始になる。
攻撃をとめる。 (前進をとめる)	○ボールを持っている人のタグを取ることで前進をくい止められる。 ○ボールを持っている人達、どちらか一方のタグを取られたら、相手にボールを渡す。

競技規則 (ルール) 2

攻 守 交 代	① ぶつかったとき
	② ボールを落としたり、前に投げたりしたとき
	③ ボールをけったとき
	④ ボールを持って前に進まず、まがったとき
	⑤ タグ取りのじゃまをしたとき ※タグは取らせるもの
	⑥ コートの外に出たとき
	⑦ トライをしたとき

U8ミニラグビーでのタグラグビーのルール3

得点 左右のタグが付いている状態で、ボールを持ってゴールラインを越えた場合、トライ(1点)とする。グラウンドや体育館の状況でグラウンディングにするかゴールライン通過にするかは決定する。

U8 (3~8歳) のタグラグビーのルール

★レベルでパスの仕方を変える。

	初級	中級	上級
パス	タグ後に	タグ後に	自由な
	パス	パス	パス

コーチ陣で大切にしたいこと 1

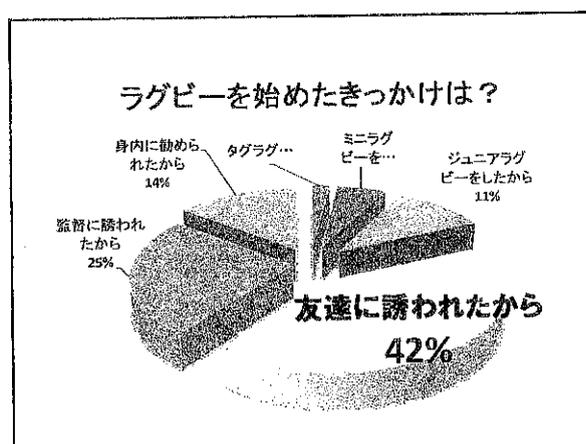
プレーのその一瞬に感動していたら、点差や残り時間や勝敗の結果は関係なくなる。

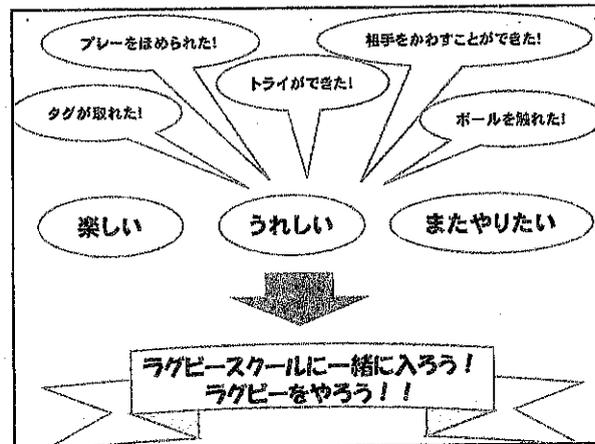
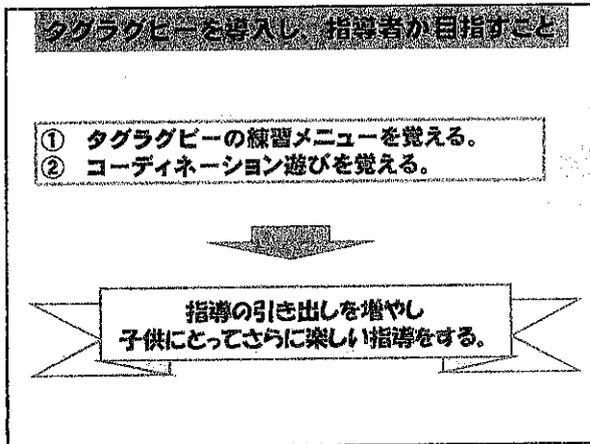
いろんな技(技能)やチームプレーにチャレンジさせ、ほめてあげると、うれしくて楽しくてたまらなくなり、自ら上達しようと努力する。

コーチ陣で大切にしたいこと 2

U8以下 (3~8歳) は、勝つことより、プレーすることの喜びを教える。

結果
友達から友達へラグビーの良さが広がり、ラグビースクールに入ろうと伝わる。





最後に

**タグラグビーを導入して
ラグビー好きを増やそう。**

御静聴ありがとうございました。

九州ラグビーフットボール協会
普及育成委員会
副委員長兼タグラグビー部門長 三原一樹

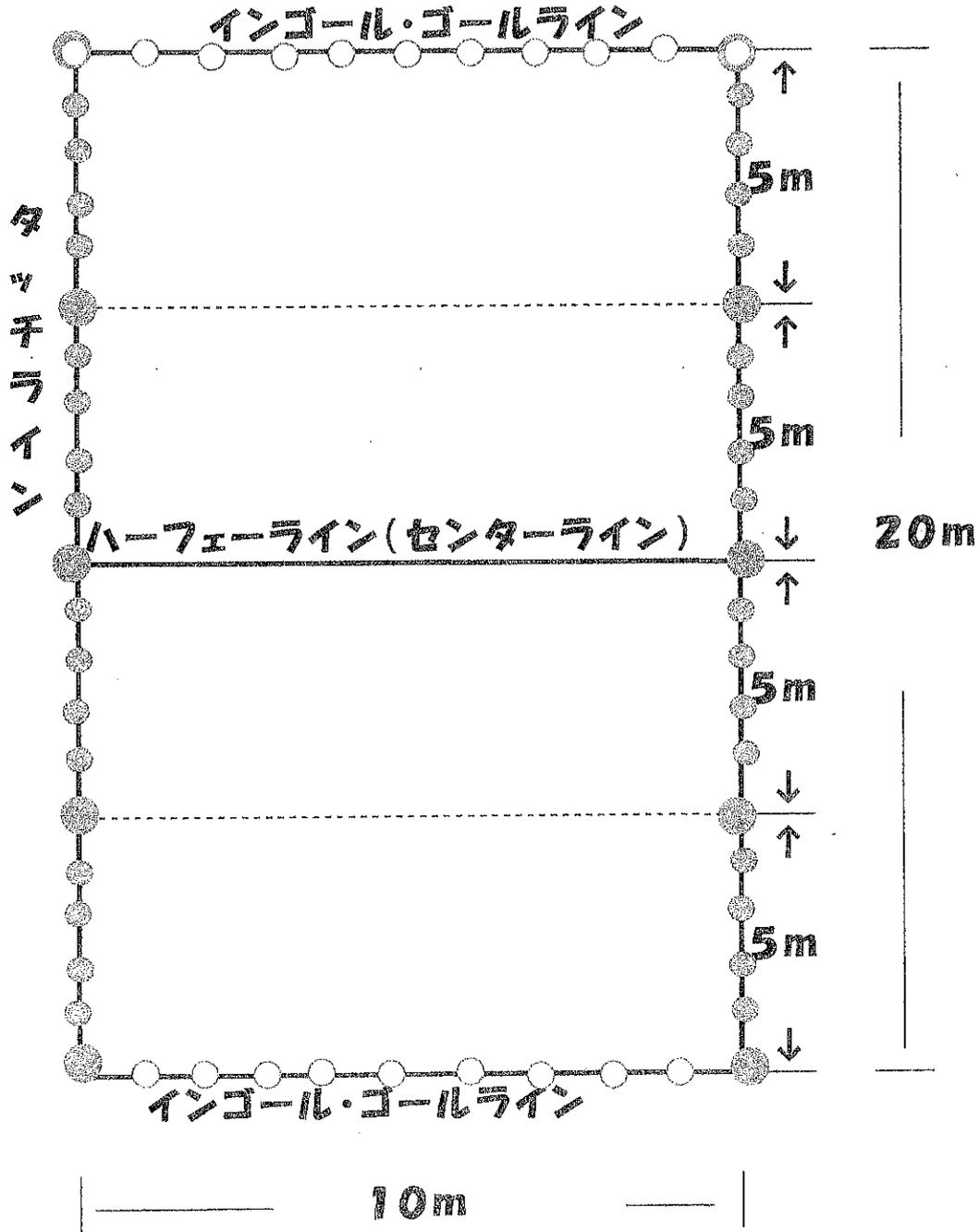
ラグビースクールにおけるタグラグビーの基本的ルール

低学年及び幼児「8歳以下」のタグラグビー

- 1 人数 4人/チーム ※3人でも可、ただし5人以上での試合は行わない。」
- 2 グラウンド 20m(縦)×10m(横)
- 3 試合時間 5分間×2(休憩1分間) 試合時間10分間
※ 1日の試合時間は、総時間40分以内
- 4 試合開始
 - ・ スタートは、攻守両チームが静止、守りが一斉に右手を挙げて「セット」と言ったらプレーがスタートする。
 - ・ スタートの攻守の間隔は、必ず5mあける。
 - ・ 最初、ボールを持っている選手が次の選手にボールを渡し、その選手が動きプレー開始。
- 5 攻防
 - ・ ボールを持った選手は、ゴールをめざしてステップを切りながら前進をする。
 - ・ 守りは、ボールを持った選手のタグを1本だけ取り、攻撃の前進を防ぐ。
 - ・ ボールを持っている選手はタグを取られたら、止まって味方にボールを受け渡す。
 - ・ ボールの受け渡し(パス)は、段階(レベル)に応じて、手渡しパスから行う
- 6 攻守交代
 - ・ タグ4回。
 - ・ 攻撃側(ボールキャリア)と守備側(ディフェンス)との接触が起きた場合。
 - ・ ボールを前に落したり、前方に投げた場合。
 - ・ ボールを蹴った場合。
 - ・ ボールを持った選手が後退した場合。(ゴールに対して前進せずに下がった場合)
 - ・ タッチラインを出た場合。(ラインを踏んだ場合)
 - ・ トライした場合。
- 7 得点
 - ・ トライ(1点)
 - ・ トライの認定は、両方の腰にタグが付いて、両足がゴールラインの立平面を越えた場合。
※ 怪我防止のためにグラウンディングの必要はない。
- 8 選手交代・入替
 - ・ 選手の交代・入替は、ハーフタイム時とトライ後とする。
 - ・ 再出場を認める。
- 9 指導の在り方
 - ・ 慣れてきたらレフリーは付けない。ただし、幼児及び初心者の試合には付ける。
 - ・ レフリーが付かない場合は、安全面を考慮してコート担当者が試合運営やコート管理を行う。
※反則については、疑義が生じた場合はボールキャリアと守備側(ボールに最も近いプレーヤー)により、ジャンケンを行い勝った方のボールでリスタートする。
 - ・ 監督やコーチ、保護者は、ベンチサイドで建設的な言葉(ほめ言葉)のみ。コーティングは禁止。
 - ・ 選手のトライ後、監督やコーチ、保護者は「タッチやハイタッチ」でほめてあげる。
- 10 その他
低学年(8歳)以下は、試合はタグラグビーだが、練習メニューは今まで通り、ミニラグビーの練習をすることが大切である。
指導ポイントは、低学年の練習時間は60分以内、練習にタグラグビーを活用することである。
レフリーを付けない理由は、選手としての選手の自主性やルール理解、フェアプレーの精神を養うためである。

U8以下のタグラグビーコート

コートの広さ20m×10m



楽しみながら集中させる「効果的な運動ファイブ」

	名前	動作内容
1	仰向けに寝た状態から立つ	両手を真上に挙げた状態で5数えながら、仰向け寝たり、立ったりする
2	バランスチェック	片足になり、上げた足は後ろ、上げた方の足と同じ法の手で軸の足先を触れ5数える。
3	足首チェック	両手を頭上にあげ、5数えながら膝を曲げてしゃがむ。
4	後出しじゃんけん	じゃんけんポン(自分)次のポンで相手が出し、じゃんけんをする。(連続5回以内)
5	じゃんけん早取り	二人でじゃんけんをして、勝った場合と負けた場合に取り上げる物を決めていて、素早く取り上げた方が勝ち。(連続5回以内)
6	手のひら上下	2人組で上下に手を出し、下の人の手が動いたら左右に逃げる。(連続5回以内)
7	じゃんけん防衛	握手をしてじゃんけんで勝ったら相手の甲を叩く。負けは防ぐ。(連続5回以内)
8	じゃんけんキャッチとブル	二人ペアで片手をつなぎ、勝つたらをにぎり、負けたら手を引く。(連続5回以内)
9	アヒルさん歩き	左右の手でそれぞれの左右の足首を握り、アヒルのように歩く。(5m、5回以内)
10	カニさん歩き	肩幅と同じぐらい足を開き、閉じないように、上下に揺れないように横に歩く。(5m、5回以内)
11	転がり	腕で足を抱きかかえて横に転がる。(5m、5回以内)
12	背中をつけて立とう	背中を合わせ、一斉に立つ。①背中だけ ②腕を組んで ③手を離しボールを挟んで(5回以内)
13	前後左右ジャンプ	前後前後右左右左ジャンプを一人から二人と徐々に人数を増やす(5回以内)
14	ボールシュート	ボールの的あて、かご入れ 必ず左右交代にする。ボールの大きさを変える。(5m以内)
15	ボールを投げてキャッチ	ボールを頭上に投げて、いろんなことをしてからキャッチする。最初は、数回手をたたく。慣れたら頭肩お腹膝にタッチ、歩く、走る。(5回以内)
16	片足相撲	片足になり、持ち上げた同じ方の足首で内側に押し合い動いたら負け。(5回以内)
17	けんけん相撲	片足になり、けんけん相撲をして、両足で立ったら負け。(5回以内)
18	かべ鬼	4人組で二人が壁なり動かない、その壁を利用して壁鬼。(5回以内)
19	タグ取り円	4人組で一人が鬼、3人が円になり、最初に決めた人のタグをとったら勝ち、途中とるタグを変えても良い。(5回以内)
20	うしうま	言われた方が逃げる。追いかける方は線を越えたら負け。

練習や試合中における確認事項

選手に対しての誉める言葉 ※アドバイスはしない!

ラグビーだからこそ！選手個人の良いプレーを誉めてあげる！

攻 守	最 初	次の言葉	具体的な指導に	練習前や試合の前に 練習後や試合の後に
攻 撃 ア タ ク	ナ イ ス ト ラ イ ！	・ 走りが良かったね。	・ 速くなったり、遅くなったり、チェンジオブペースがとても良かったよ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ もうちょい。 ・ 君なら出来るよ。 ・ ほしかったね。 ・ うまくなってきたよ。 ・ チームワークが良くなってきたよ。 ・ 元気が出てきたよ。 ・ 声が出てきたよ。 ・ 動きが速くなってきたよ。 ・ 笑顔がいいよ。 ・ パスがいいよ。 ・ 走りがいいよ。 ・ これからは楽しみだね。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールをうまく取ったね。 ・ パスが良かったね。 ・ タグ取りをうまく避けたね ・ チームプレーがよかったね。 ・ ボールをうまくつなげたね。 ・ 敵がいないところへ走れたね。 ・ ボールを持っている人についていけたね。 ・ 守りの動きをよく見ていたね。 ・ クロスプレー（ループプレイ）ができたね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 左右へのカットインやカットアウトが良かったよ。 ・ 相手を避けてまわるスワープが良かったよ。 ・ クロスで走り込んできたのが良かったよ。 ・ 相手より速く動いていたね。 ・ 守りのいないところへ良く走り込めたね。 ・ ボールをもらうスピードが良かったね。 ・ ボールをもらうタイミングが良かったよ。 ・ パスをもらう姿勢が良かったね。 ・ 体を向けてきっちとボールをとれたね。 ・ パスのタイミングが良かったね。 ・ . 	
守 備 デ ィ フ ェ ン ス	ナ イ ス デ ィ フ ェ ン ス ！	<ul style="list-style-type: none"> ・ タグ取りが良かったね。 ・ 攻撃の動きをよく見ていたね。 ・ 走りが良かったね。 ・ ボールを持っている人の動きを予想していたね。 ・ 次のボールをもらう人の動きをよく見ていたね。 ・ チームワークが良かったね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一番近いタグが良くとれたね。 ・ 手を良く伸ばしてタグが取れたね。 ・ 素早い動きでタグが取れたね。 ・ チームでの守りが良くできていたね。 ・ ボールをよく見ていたね。 ・ 相手の動きをよく見ていたね。 ・ 素早い動きだったね。 ・ . 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 君はチームのリーダーだ。 ・ 君はチームのエースだね。 ・ 次がとても楽しみだ。 ・ 今度もきっと上手くできるよ。
			<ul style="list-style-type: none"> ・ チームのみんなのパスが良かったね。 ・ みんなの動きが速かったね。 ・ みんなナイスフォローだ。 ・ サインプレーかな？良かったよ。 ・ . ・ 全員が一緒に動いていたよ。 ・ 全員が声を出していたよ。 ・ サインプレーかな？良かったよ。 ・ . 	

